

5月21日(水)から27日(火)までの一週間、韓国へ出張した。開館年度の秋に予定している「日韓交流展」において展示する韓国内の馬具を調査し、各所蔵機関に展示会の趣旨の理解と協力を求めるためである。

この時期ということもあり、韓国行きと聞いた人のほとんどから、東アジアで猛威を振るう新型コロナウイルス(SARS)について心配された。しかし、日本と並んで公衆衛生の徹底している韓国では(アメリカの地方都市よりもよっぽど良い)、未だ真性のSARSは出ていない。それでも観光業界は大打撃だと、通訳をお願いした現地の旅行会社のお兄さんは嘆いていた。我々は大丈夫。何故なら、キムチや青唐辛子、マッコリ、ジンロによる消毒は毎晩欠かさなかったから・・・。

宮崎からのソウル直行便(アジアナ航空)は、25日から運休となり、帰りは福岡経由に変更になった。宮崎～ソウルは90分、ソウル～福岡は50分と近さを実感した。東京に行く方がよっぽど時間を要する。時差もなく、風景もどこか見覚えがある感じで、食べ物も違和感無し。ハングル文字さえ見なければ、外国であることも忘れそう。

出張直前になって、国立公州博物館で国宝の仏像等4点が盗まれたというニュースが入った。最初に訪問する予定の博物館だ。開館しているのか?怪しげな日本人二人組を受け入れてくれるのか?

予想に反して、館長さんも学芸室長も快く対応してくれた。(開館前の朝の朝礼が異常に長く待たされはしたが。)なんと学芸室長の奥さんは、以前国際交流員として宮崎県南郷村に5年滞在していたということで、特に親しく対応してくれた。しかも、その奥さんは現在、国立扶餘博物館で働いているということで、そちらの館長と学芸室長への取り次ぎも図っていただいた。旧百済地域の馬具資料は元々少なく、情報も限られていたので、近年の情報が聞けたことは非常に助かった。

初日の夕食は扶餘の食堂。小皿料理が山ほど並ぶ(文字どおり、料理の入った皿と皿の間に次の皿を山ほど積み上げていた。)韓定食。キムチもチャンジャもスープもあまり辛くなかった。美味かったけど。宿泊は大田。韓国の温泉地らしいけど、入れなかった。温泉は9時には閉まっていたし、翌朝は早くに出発したから。

6泊7日の出張日程で、毎日移動しながら韓国のほぼ4分の3を回る強行軍。疲れたけど実り多い出張でした。珍道中の続きは次号で・・・。(記 NH)

